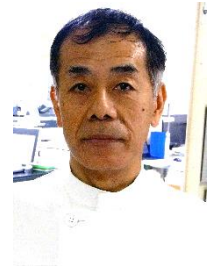


群馬地区会長よりの挨拶



群馬地区会会長 松井孝男

群馬地区会会長を拝命しております国立療養所栗生楽泉園の松井でございます。
警戒レベルもだいぶ下がって参りましたが、未だに群馬県内においても新型コロナ新規陽性者が 140 人前後と毎日のように報告されている状況です。私たちが陽性となりクラスターを発生させてしまう訳にはまいりません。そこで今回、このような形で群馬地区会主催の第一回研修会を開催させていただき運びとなりました。第一部では特別公演として「PCR の基礎とコバス Liat のご紹介」を企画致しました。また、第二部では「群馬地区各施設紹介」として令和 3 年度各施設理事さん、もしくは新人さんたちによる施設紹介をお願いしました。コロナ禍の地区会活動において会員が参加できる数少ないイベントのひとつであります。最後までお付き合いのほどよろしくお願いします。

また、関信支部会員皆様におかれましては、先日、群馬地区会におきまして関信支部より Zoom をお借りし群馬地区会研修会を実施致しました。
その中で各施設紹介を担当責任者の方々が創意工夫されたプレゼンを行って頂き、予想をはるかに超える内容でとても素晴らしいものでした。

長く群馬地区会に参加しておりますが、施設紹介をこのような形で実施したことは無かったように記憶しております。また、他の地区会においてもありそうで今まで機会なく各地区会を渡って来てしまいました。今回の事がきっかけで他施設の事情も良く分かり、群馬地区会の 4 施設が益々ひとつになれた感が致しました。

4 月の人事異動におきまして 12 名の新会員をお迎えしてそれぞれの方々より素晴らしいご挨拶も頂戴しました。その「地区会だより」と合わせて今回実施致しました「各施設紹介」のファイルを閲覧して頂くことで群馬地区会の活動の一部をご紹介とさせていただきたいと思えます。

最後にコロナ禍ではございますが前年度にできなかったことにプラスして一つでも多くのイベントごとを前向きに取り組んでおります。

今後とも群馬地区会活動にご協力をお願いします。

また、引き続き関信支部皆様におかれましてはよろしくお願い申し上げます。

令和3年度第1回国臨協群馬地区会研修会に参加して



国立療養所栗生楽泉園 研究検査科 古田 学

令和4年7月2日(土)10時より令和3年度第1回国臨協群馬地区会研修会が関信支部の協力のもとWEB会議システムZOOMを利用して開催されました。研修会は2部構成で行われ1部はロシュ・ダイアグノスティックス株式会社の日和佐さんよりPCR検査についてと県内3施設で使用されている「COBAS Liat」システムについての解説があり、2部では県内4施設の紹介が行われました。

1部での研修ではPCR検査の基礎やRT-PCR法の説明を受けると分かっていたつもりでも改めて基礎や検査について知る事が出来ました。特に内部標準と阻害物質との関係についてあまり理解していないところがあったのですが、よく知る事が出来ました。

2部での施設紹介では、各施設で工夫が凝らされた紹介が行われました。栗生楽泉園はドローンによる空中撮影で施設全体の映像が動画でみられハンセン病療養施設においてはどのような診療が行われているか説明されました。沼田病院では地域との関係、周辺の施設などが紹介され検査科がリフォームされ新しい機器を導入し使いやすくなったとお話がありました。渋川医療センターは検査科と周辺にある飲食店の料理が紹介されました。美味しそうな料理の写真がたくさん出てきてお昼前もあってお腹が鳴ったのを覚えています。高崎総合医療センターでは周辺の紹介と検査科の規模についてお話がありました。同じ県内にある施設でも直接訪れる機会はなかなかなく改めて色々なことを知る事が出来ました。

コロナ禍により地区会会員の直接の交流が出来ない中このような研修会を企画してくださった群馬県地区会役員の方に感謝します。